

# 組織部報告告

- 二、神戸市海員ホームページ建設運動經過報告
- 三、上海及揚子江方面出張事務報告
- 四、失業海員救済資金支出
- 五、組合政治部確立

一九二九年ウォール街に勃發せる株式恐慌を前奏曲として燎原の火の如く全世界に擴大した經濟恐慌は本年度に於ては更にイギリス金本位制の停止、フーバー、モラトリアムの宣言、上海滿蒙事變の發生、我國の金輸出の再禁止等の國際的全局面の混亂と相俟つて益々尖銳化するに至つた。かくして我國重要産業の一環として全世界の經濟動向を最も敏感に反映する我海運界が本年度に於て一段と深刻なる痛撃を被つたことはいふを俟たない。

しかるに恐慌の原因が資本主義經濟機構の諸矛盾の對立激化の中に存することの根本的認識を缺除せる海上資本家群は、弱縫を事とし、恐慌の暴威の前に徒らに無力を暴露するのみであつた。加ふるに銀行、保險業者等の金融資本家の前に全然無氣力なる彼等は一切の損失を労働階級へ轉嫁せんとする労働條件の劣悪化を以つて僅に苦難を廻避すべく狂奔した。

本年度に於て組合組織部が當つた各種交渉が昨年度比して五割七分の増加を示し、その中、繫船手當交渉が約二十件の激増を見たる事實に従事するも海運恐慌の波が如何に峻烈であつたかを容易に察知し得るであらう。

かくの如き海運恐慌の深刻化に對應する資本家群の狂暴的攻勢に對して組合は過去十数年の血みどろの闘争によつて獲得した物語るものである。

## 本年度に於ける月別加盟者數

六年四月	五月	六月	七月	八月	九月	合計
五三〇	七四三	六一五	五四九	三二六	三四四	四、八八一
十一月	二二九	十二月	三三〇	二月	三月	
				四七九	二八九	
						合計
						二二六
						五一
						四六

死  
亡  
内課規約違反者  
任意退會者

## 昭和五年度末組合員數

八九、一九七

昭和六年度末同

九三、七三六

## 昭和六年度末組合員各部別表

八九、一九八  
一九、九九八  
九三、七三六

甲板部	三〇、一八七
機關部	四三、五五一
司厨部	一九、九九八
合計	九三、七三六